

二月六日

東平端出場組合負各支部に集り提棒等を作り不穏の形勢あり。午後六時鹿森組合負山本耕馬の葬式には支部旗を立て提棒を振り労働歌を高唱して會葬す。組合側は最近の局面展開を圖りしもの、如く脱會者復帰、及新加入の勧誘を行ふたゆ外未應核者は各支部に介北家庭訪問を開始す。望月滯治上京。

二月七日

組合側廿数人一同とあり各部落に示威運動をふす。七名誠首發表す。西尾未広は別子より山名義鶴は別府より松山に來り折から末松中へ添田協理會理事に對し爭議和解に關する内交渉を開始す。

二月八日

新田鹿森、組合負男女數十名労働歌を高唱しつ、新田部落に示威し演説會を開く。一方又新田鹿森立川の組合負約七十名年に棍棒を携へ二隊に分れ立川及石ヶ山文等に向はんとし途中在電所襲撃の危険ありしかば警察官の爲め解散を命ぜらる。十七名解雇。大坂近々刑所に於て一月一日小倉理事宅に暴行せる大矢省三、南山幸次郎の家宅侵入器物毀棄罪に係る公判開庭、換事より大矢に對し懲役一年、南山同く十ヶ月の求刑あり。昨晩鹿森及新田の組合負二十余名は棍棒を携へ乳勢を揚げて笠山へ乗り上り七夜を通過せんとし解散を命ぜらる檢束二名。

二月九日

同刻鹿森及新田組合負約六十名。別隊一本松柳原の組合負と合して示威運動をふす。二名解雇。

二月十日

組合側土気次第に沮喪の形あり、十五名解雇。

二月十一日

紀元節のため鉱山側休業。組合側も終日平穩。

二月十二日

解雇者五名発表。

二月十三日

午前三時半石ヶ山大に去る端出場發電所貯水池を去る約七町鉄橋附近に於て鋸、玄翁等を用ひ木造樋水路を破壊せる者あるを発見し警官急行犯人田中良一外数名は逮捕せらる。尚同刻大保水發電所に於ては金山谷ふる水樋約十一間に亘り片側全部を破壊せし者あり。之れが爲め鉱業所水力電氣の五線たる兩發電所は午前七時頃より漸次送電力を遮滅せしむ之より先水路破壊の報に接するも同時に總て準備しありたる新庄浜及四反島の火力發電所を運轉を開始し爲めに四反島の一部を除きては殆んど作業に支障をかりし如くである。去る七日以來連日爭議解決に關して協理會理事添田敏一郎に内交渉中ありし組合側は遂に知事に對して白紙を以て調停を懇願した。公症治療終了者六名解雇。